

石川中央都市圏 “住みやすさ”日本一の 圏域に向けて

2023.7.19(水)

|

2024.2.17(土)

全講座無料

事前予約制

金沢市近郊私立大学等の特色化推進プラットフォーム(以下、私大等PF)は、学都金沢を形成する13の私立大学・短大・高専に、自治体、産業界が参画した組織です。産学官が連携し、「質の高い教育」「住みやすさ日本一」「地域と産業の活性化」を目指し、様々な事業を展開しています。

今回は、私大等PF加盟校によるリレー講座として、金沢市が掲げる「石川中央都市圏ビジョン」に関する研究成果や話題について、各大学の特色を活かし、様々な側面から紐解きます。

石川中央都市圏(金沢市、白山市、かほく市、野々市市、津幡町、内灘町)の現状を知り、私たちにとっての“住みやすさ”とは何かをいっしょに考えてみましょう。

Okajima Hideaki **岡島 英明**

金沢医科大学 | 小児外科学 主任教授/小児高度外科医療センター長

Ohata Koji **大畑 光司**

北陸大学 | 医療保健学部 教授/健康未来社会実装センター長

Kato Keinichi **加藤 謙一**

金沢学院大学 | 芸術学部 准教授

Miyazato Shinichi **宮里 心一**

金沢工業大学 | 学長補佐/工学部 教授/地域防災環境科学研究所長

Murakami Satoshi **村上 智**

金沢学院短期大学 | 現代教養学科 教授

Okauchi Yuichiro **岡内 祐一郎**

かなざわ食マネジメント専門職大学 | 学長

Shin Hiroaki **新 広昭**

金沢星稜大学 | 副学長/経済学部 教授

Yoneshima Manabu **米島 學**

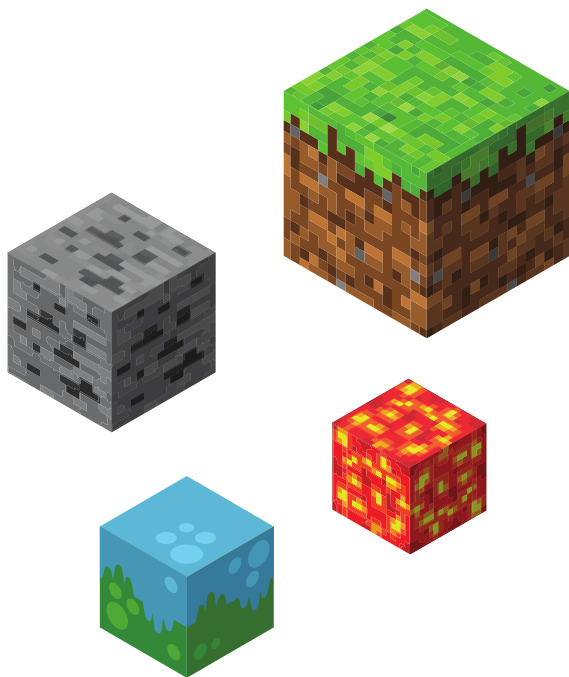
金城大学 | 学長

Izumiya Rikichi **泉屋 利吉**

国際高等専門学校 | 事務局次長/SRIインターナショナル公認ファシリテータ

Enomoto Toshiki **榎本 俊樹**

北陸学院大学 | 健康科学部 教授





2023.7.19(水)
18:00-19:00

岡島 英明

金沢医科大学
小児外科学 主任教授
小児高度外科医療センター長

|会場|
石川県政記念いのき迎賓館

小児高度外科医療センターにおける芸術療法

現代の医療においてチームが重要です。ときには複数の疾病を有した子どもたちの外科診療にあたることも少なくありません。金沢医大病院では診療科の垣根を越えたチーム医療をコンセプトに、小児高度外科医療センターがあります。より重症の子どもたちは、精神的負担も大きくなり、長期にわたるケア・サポートが必要なるため、アートセラピー・芸術療法を導入しています。本講座では、この取り組みについてご紹介します。

|定員|
30名

|対象|

中学生	高校生
教員	一般
大学関係者	



2023.7.29(土)
10:30-12:00

大畑 光司

北陸大学
医療保健学部 教授
健康未来社会実装センター長

|会場|
北陸大学太陽が丘キャンパス

医療介護のロボット化へ向けて —北陸大学健康未来社会実装センターの挑戦—

我が国の直面する人口減少社会において、医療介護に関わる領域の需要は増加しています。石川県においても、その労働生産性の向上は喫緊の課題となっています。北陸大学では、新たに健康未来社会の実現を目指すセンターを設立し、遠隔地への運動指導やロボット社会実装に向けた取り組みを開始しました。本講座では、様々なセンターの取り組みについて紹介し、未来社会における医療介護ロボットのあり方について提案します。

|定員|
30名

|対象|

中学生	高校生
教員	一般
大学関係者	



2023.8.6(日)
15:00-16:00

加藤 謙一

金沢学院大学
芸術学部 准教授

|会場|
オンライン

博物館の魅力発見 — その楽しみ方と関わり方 —

石川中央都市圏域には数多くの博物館があります。博物館は地域の歴史文化や自然環境を実物の資料や作品との出会いを通じて知る点に大きな魅力があります。本講座では、最初に意外に知られていない博物館の種類や機能に触れた上で、実際の展示に見られるさまざまな特色や工夫を紹介します。あわせて、これからの博物館に期待されるまちづくりや文化観光の拠点施設としての役割についても考えてみたいと思います。

|定員|
100名

|対象|

中学生	高校生
教員	一般
大学関係者	



2023.8.21(月)
13:00-14:00

宮里 心一

金沢工業大学
学長補佐/工学部 教授
地域防災環境科学研究所長

|会場|
石川県政記念いのき迎賓館
オンライン同時開催

メカニズムを踏まえた防災について

全国各地で自然災害が発生し、安全・安心な生活をおびやかします。本講座では、地震や津波などが災害を引き起こすメカニズムを説明します。その上で、減災や防災について参加者のみなさんに考えて頂きます。また、多数の震災を踏まえて向上してきた防災技術の歴史を紐解き、世界から欲されている日本の防災や復興について紹介します。小学生や中学生にとっては、夏休みの自由研究にもなるような資料を準備します。

|定員|
会場 **20**名
オンライン **300**名

|対象|

中学生	高校生
教員	一般
大学関係者	小学生



2023.9.9(土)
13:30-14:30

村上 智

金沢学院短期大学
現代教養学科 教授

|会場|
オンライン

何も無い地域で、つくられた物語を旅する —石川県舞台のメディア誘発型観光について—

石川県内には、ドラマの舞台になったり、アニメの聖地になったり、歴史的な伝説があったりと、「物語」性がある地域が多数あります。それらに、「メディア」機能が加わることで、新たな観光地が生まれることがあります。金沢市湯涌温泉舞台の『花咲くいろは』は、2011年にメディアミックスのかたちで表舞台に現れ、それをきっかけとして、「ぼんぼり祭り」が新たに誕生し、現在も続いています。この例をもとに、新たな観光誘客を考えます。

|定員|
100名

|対象|

中学生	高校生
教員	一般
大学関係者	





2023.9.30(土)
10:30-12:00

岡内 祐一郎 かなざわ食マネジメント専門職大学 学長

|会場|
国際ビジネス学院
白山キャンパス

地域に根付く「共食」の場づくり 石川の「食」をキーとした広域に渡る「交流の場」の構築

食都として注目を集める石川県には、未だに知られていない地域の食文化があります。従来の地域食に新たな形態や価値を創造し、それらを効果的に情報発信することで、世界から石川の食や食習慣を求めて観光客が訪れ、地域との「交流の場」を生み出すことにつながります。この新たな場づくりは、高齢化社会に伴う孤食・個食の問題解決にもつながることが期待されます。本講座では、石川の食習慣の在り方と共食の場づくりについて考えます。

|定員|
30名

|対象|

中学生	高校生
教員	一般
大学関係者	



2023.10.24(火) 新 広昭

金沢星稜大学
副学長
経済学部 教授

|会場|
石川県政記念しいのき迎賓館
オンライン同時開催

生物文化多様性とツーリズム

生物文化多様性という考え方は、自然生態系を利活用しながらそこから経済的なメリットを得、同時に自然生態系を保全していくことにより持続可能な地域づくりをしていこうという考え方です。本講座は、利活用の形態としてツーリズム(観光)に着目し、自然生態系と人とのかかわりによって形作られた「文化」がどのように発展し、それがどのような観光資源になっていくか、についてビジュアルの資料(マンガ)も交えてお話しします。

|定員|
会場 **30名**
オンライン **100名**

|対象|

中学生	高校生
教員	一般
大学関係者	



2023.11.11(土) 米島 學

金城大学
学長

金城大学「保健・医療・福祉創造フォーラム」との
共同開催!

|会場|
金城大学笠岡キャンパス
オンライン同時開催

これからの地域医療と福祉

社会福祉や介護は少子高齢化の現代社会において非常に重要な意味合いを持っており、社会福祉や介護サービス、病気や障がいを抱える人々への医療ケアや精神的なサポート等多岐に渡ります。人々の生活の質を向上させ、社会全体の健康と福祉を支えるために、社会福祉や介護の体制強化や、専門職の育成、経済的な支援の充実を図ることを目標として、大学としてできることを臨床現場で働く方や行政の方を交えてトークをしていきます。

|定員|
会場 なし
オンライン **300名**

|対象|

中学生	高校生
教員	一般
大学関係者	



2023.12.9(土) 泉屋 利吉

国際高等専門学校
事務局長
SRI国際ナショナル公認ファシリテータ

|会場|
金沢工業大学チャレンジラボ
オンライン同時開催

石川イノベーションクエスト

地域の可能性を引き出し、新たなビジネスを生み出せ!

スタンフォード研究所が開発したイノベーション創出手法や、国際高専の授業でも学ぶデザイン思考を用いて、石川県から新たなビジネスを生み出すワークショップを開催します。また、ワークショップでは個人やグループでの活動も通して、参加者同士のネットワーク構築の場にも活用頂きます。

|定員|
会場 **20名**
オンライン **20名**

|対象|

中学生	高校生
教員	一般
大学関係者	



2024.2.17(土) 榎本 俊樹

北陸学院大学
健康科学部 教授

|会場|
石川県政記念しいのき迎賓館

お茶の香りは茎に多かった。一 茎ほうじ茶(棒茶)の魅力を科学で紐解く 一

石川県にはお茶の茎のほうじ茶、いわゆる棒茶があります。棒茶は、明治時代に金沢市の茶店が開発し、今日まで受け継がれている伝統茶です。棒茶は葉のほうじ茶と比べ、甘く、香ばしく、フルーティーな香りが特徴ですが、その特徴に関与する成分は不明でした。本講座では、棒茶の香りや呈味を科学で紐解き、関与する成分の解明と生成メカニズムについて解説します。

|定員|
30名

|対象|

中学生	高校生
教員	一般
大学関係者	

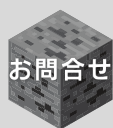
お申し込みについて



左側のQRコードを読み取り、Googleフォームに必要事項をご入力ください。以下のURLからもお申し込みいただけます。

<https://forms.gle/pXmUCoJ4PBoDgvsx7>

<申し込み締切>各講座開始1週間前まで



北陸大学 地域連携センター

〒920-1180 石川県金沢市太陽が丘1-1
TEL. 076-229-6111 (土・日・祝日を除く9:00-17:00)
FAX. 076-229-6112
MAIL. chiiki-g@hokuriku-u.ac.jp